

伊号第五百五十六
伊号第五百六十三
潜水艦計畫要領書

昭和十一年十月二十日

海軍艦政本部

伊號第五百五十六號百六十三潜水艦計畫要領書

第一章 計畫方針

本艦型ハ有カナル水雷兵器ヲ有シ最近ノ要求ニ対スル水上水中一般性能ヲ
優良ナラシムルト共ニ主力艦隊ニ随伴シテ行動スル爲常備標準状態ニ於ケ
ル速カト耐波性ヲ重要視シ又満載常備状態ニ於テハ续航力及之ニ關聯セル
諸般ノ持久性ヲ大ニシテ長期ノ單獨行動ヲ可能ナラシムル目的ヲ以テ計畫
シタル海軍大型潜水艦ナリ
詳細計畫ニ當リテハ常ニ此方針ヲ基礎トシ當部ヨリ指示スル事項以外ニ於
テモ諸構造及裝置ヲ其目的ニ應セシムル様細心ノ注意ヲ拂ヒ上記性能ノ
發揮ニ勉ムベシ

第二章 重要々目

(一) 重要寸法等

長(垂線間)

(全長)

(水線長、常備標準状態ニ於テ)

九四、末 五〇〇

一〇一、〇〇〇

九八、九〇〇

伊一五六要一

幅 (最大)

七、九〇〇

深 甲板龍骨下面ヨリ

六、七〇〇

(上部構造物上面迄)

(司令塔頂板上面迄)

(艦橋天蓋上面迄)

(バラストキール下面迄)

耐圧船殻直径 (被殻外)

五、五〇〇
七八、五八〇

同 右 全長

平均吃水

四、九〇〇

常備標準状態ニ於テ「バラストキール」下面迄

排水量 (海水比重一・〇二五)

常備標準状態

一、八〇〇 噸

潜航状態

上部構造物、

浮力「タンク」其他非水防部ヲ含マサル場合

復原力

同右ヲ含ミタル場合ハ艦ノ外型ニ於スルモノ

常備標準状態 G M

〇.六〇〇 米

同右ヨリ潛航シタル場合 B G

〇.一五〇

安全潛航深度

六〇.〇〇〇

(二) 馬力

主機機

六、八〇〇馬力

補助發電機

五六〇「キロワット」

主電動機

一、八〇〇馬力

(三) 速力 (水上ノ場合ハ常備標準状態ニテ)

水上全力 (補助發電機ヲ併用スル場合)

二十節

潛航全力 (一時間放電率)

八節

補助發電機ニ依ル水上電氣推進

十節

(四) 航續力

常備標準状態ニテ

十節 四五〇〇海里

滿載標準状態ニテ

十節 一〇,〇〇〇海里

潜航状態ニテ

三節 六〇海里

(五) 燃料油及潤滑油搭載量

	常備	豫備	合計
燃料油	一〇〇吨	一三〇吨	二三〇吨
潤滑油	一二	一六	二八

(六) 定員

士官 九名
 兵員 五十四名
 計 八十九名

(七) 砲煩兵器

(イ) 四十五口径砲十一尊式十二種砲一門
 艦橋前部上部構造物上ニ裝備ス
 (ロ) 留式七種七機銃一門
 艦橋兩舷防上ニ固定ナルC型銃架ニ移動
 裝備ス

(ハ) 三八式小銃六挺陸式拳銃十六挺

(ニ) 彈藥數

(八) 水雷兵器

品名	常備	搭載
十二種砲彈藥	五〇ヶ	一〇〇ヶ
七耗七機銃彈藥	二四〇〇ヶ	二四〇〇ヶ
小銃彈藥	一八〇〇	一八〇〇
陸式拳銃彈藥	一九二〇	一九二〇

(甲) 八十種測距儀一組ヲ艦橋天蓋上架台又ハ前記〇型銃架ニ装着使用ス

(乙) 五十三種發射管八門ヲ左ノ如ク裝備ス

艦首 六門

各舷ニ三門宛船体中心ニ併行ニシテ仰角三度ヲ附シ裝備ス

艦尾 二門

各舷ニ一門ヅ、船体中心ニ併行ニシテ水平ニ裝備ス

(ロ) 魚雷敷

發射管内八個、各發射管ニ対シ設備一個ヅ、合計十六個

(ハ) 空氣圧操唧筒 (K S H型ニ五〇盞) 五台ヲ補助機機室後部ニ裝備ス

(三) 氣筒器一號十八個ヲ艦内ニ四個ヲ上部構造物内ニ計二十二個ヲ裝備ス

(九) 水路計器

(イ) 潛望鏡三組ヲ左ノ如ク裝備ス

獨式八米潛望鏡二組ヲ司令塔内ニ裝備シ前部ノモノハ昇降台付ト

ス一組シ當分ノ内ニ組共七米ノモノヲ使用ス

「ケルビン」式九米潛望鏡一組ヲ發令所内ニ裝備ス

(ロ) 羅針儀ヲ左ノ如ク裝備ス

1 加式反映羅針儀一個ヲ艦橋上ニ裝備シ司令塔内ニ反映セシム

2 潛水艦用ニ號式磁氣羅針儀一個ヲ艦橋上ニ裝備著使用ス

3 安式轉輪羅針儀主羅針儀一個ヲ發令所ニ裝備シ從羅針儀四個

ヲ左ノ如ク裝備ス

艦橋上操舵所 (水密筒入)

司令塔内同上 (艦橋上方位測定兼用)

發令所内同上

後部應急人力機操舵所

一個

一個

一個

一個

(十) 電氣兵器

(1) 推進電動機二基

密閉通風型分撻軸極付全力九〇〇馬力ノモリ各一基ヲ電動機室ニ
裝ニ裝備ス

同轉數範圍毎分最少七五ヨリ最大一九〇ニ至ル

標準電圧 二二〇「ホルト」

定格 一時間半

課電用發電機トシテ使用スル場合

同轉數範圍毎分 最少一一五ヨリ最大二八〇ニ至ル

電圧 二四〇乃至三四〇「ホルト」

計

四個

(1) 去式艦底測距儀一個ヲ補助機機室前部右舷ニ裝備ス

(2) 安式航跡自画器受信器一個ヲ司令塔内ニ裝備シ發信器一個ヲ發令所

内ニ裝備ス

(3) 「ケルビン」式潜水艇用電動測深儀一個ヲ補助機機室前部右舷ニ裝

備ス

(ウ) 主電源用二次電池二四〇個ヲ備ヘ之レヲ二群ニ分テ各群ニ二〇個宛

直列ニ接合シ各別ノ水防區劃ニアル電池室ニ裝備ス

電池型式 四六號型二次電燈乙

(ハ) 補助發電機

二八〇「キロワット」 「デリゼル」 發電機ニ基テ裝
備ス

「デリゼル」 型式ズ式ニ 型

發電機容量二八〇「キロワット」ニ達シ使用

發生電圧二二五―三四〇「ボルト」

回轉數每分四〇〇

(ニ) 五KVA 電球式無線電信電話裝置ヲ司令塔前部無線電信室内ニ裝備

ス

(ホ) 「フエツセンテ」 式水中信號器二個ヲ兵員室前部兩舷ニ各一個宛

裝備ス

(ヘ) K「チューブル」型水中聽音裝置一組ヲ裝備シK「チューブル」上

部 造物上ニ聽音器ヲ無線電信室ニ配ス

(ト) 信號用三十種探照燈一個ヲ艦橋上架臺ニ裝着使用ス

伊一五六要八

(山) 機関

主機械ハ貳基ノ直立單働ニ衝式「デーゼル」内火式機械ニシテ之レヲ並列ニ裝備シ各掛外シ接手ヲ經テ左右舷二本ノ推進軸ニ連結ス

發動筒數

八

回轉數

三〇〇 (毎分)

軸馬力

六八〇〇

但シ推進軸上ニアル主電動機ヲ發電機トシテ回轉シ掃除空氣用「タルボプロアー」油唧筒、循環水唧筒及其ノ他各主機械ニ附屬スル一切ノ補助機械ノ回轉ニ必要ナル電力ヲ供給スル場合ニハ推進軸ニ傳フル正味馬力ハ六〇〇〇トス